

かごしまiマップ



パソコンや携帯電話などで確認できる防災マップ。外出先でも見れるので便利です

わが家の安心安全ガイドブック



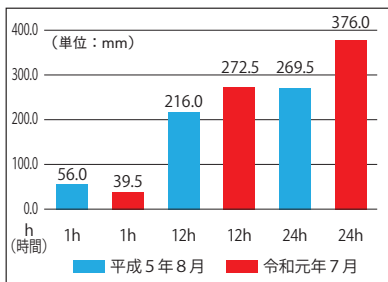
平成30年3月に全世帯に配布しています



危機管理課 齋藤 主査

自宅がある場所に色が塗られていれば、原則として自宅外避難が必要ですが、災害の種類や自宅の状態によって例外もあります。今月号と一緒に配布している「防災リーフレット」の避難行動判定フローで確認しておきましょう。

観測地点：気象台(郡元)



8・6豪雨災害と比較した
昨年6月末からの大雨の雨量

い

まずぐに、自宅の安全確認を！

災害の種類と規模などが分かるように着色された「わが家の安心安全ガイドブック」や「かごしまiマップ(防災マップ)」で自宅の危険度を確認し、いつ起こるか分からない災害に備えておきましょう。

防災診断で災害に備えよう

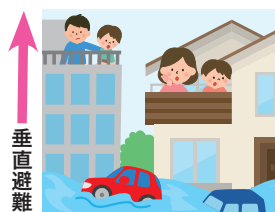
いのちを守る、3つのチェックにあたってのポイント

避難所？それとも自宅？

避難所だけでなく、安全な場所に住んでいる親戚や知人宅などの自宅外に避難することと**自宅外避難**、自宅が安全な場所にあり、自宅にとどまることを**自宅避難**と言います。どちらの避難が適しているか、自宅をハザードマップで確認しておきましょう。

命を守る最低限の行動を

夜間や急激な降雨で歩道が分りにくかったり、ひざ上まで浸水したりしているときなどは、屋外への移動は危険です。浸水による建物崩壊の危険がないときは、自宅や近隣建物の2階以上へ一時的に避難する**垂直避難**を行い、屋内で安全を確保しましょう。



垂直避難

の

どかな日に、災害の備えを！

事前に災害時に必要なものをそろえ、避難場所の確認や家族でのルールを話し合っておきましょう。

非常持出品



リュックサックなどにまとめて、すぐに持ち出せる場所に準備を！



災害の危険が迫って避難するときに自宅から緊急的に持ち出すものです。避難場所での1、2泊できるくらいの水、食料、生活用品を準備しておきましょう。

備蓄品



大規模な災害で、電気・水道・ガスなどのライフラインの停止を想定して、日頃から3日分の水や食料など、生活に必要なものを備蓄しておきましょう。特に照明器具やラジオ、乾電池、携帯電話の予備バッテリーなども役に立ちます。

ローリングストック法

普段から少し多めに食材、水などを買っておき、消費した分を補充して、常に一定の量を備蓄しておきましょう。



避難先や避難時のルールを確認

休日に家族で楽しく散歩をしながら避難所を確認する「防災散歩」や、避難先の確認など、避難経路に危険な箇所がないか点検しておきましょう。



これから梅雨や台風シーズンを迎えます。いざというときに、自分や大切な人の命を守るため、日頃から災害に備えることが大切です。今月号と一緒に配布している防災リーフレットを活用し、防災診断を行い災害に備えましょう。

【危機管理課 ☎ 216・1213 FAX 226・0748】